

期の1日のトビイカ需要量は、単価400円であれば600kg、350円であれば1000kgであると推定した。

- ⑩ 従って、久米島におけるトビイカ釣り漁業者の盛漁期の許容人数は、1カ月間の出漁日数を14～22日、1出漁日当りの平均漁獲量を25kgとすると、1kg当り400円の販売価格を希望するのであれば24人、350円を希望するのであれば40人と算出される。
- ⑪ 久米島におけるトビイカの需要は、地域住民の自家消費と加工業者による原料イカに限られ、島外への移出はほとんどない。
- ⑫ 加工製品はおみやげ用の塩辛ビン詰であるが、塩辛品の需要低下や製品の品質変化などの問題を抱えており、56年の加工量は5トン以下であろうと思われる。

### 謝 辞

この調査をすすめるに当っては、久米島漁業協同組合長上原星一氏をはじめ、たくさんの漁業関係者のご協力をいただいた。特に同組合の新城武彦氏にはずいぶんお世話になった。ご厚情に対し心からのお礼を申し上げたい。

### 引用文献

1. 当間嗣誠、1971、トビイカ釣漁業試験、昭和46年度沖水試事報
2. 沖縄県統計年鑑 昭和55年版、沖縄県
3. 第3次～第9次沖縄農林水産統計年報、沖縄開発庁沖縄総合事務局農林水産部
4. 昭和55年沖縄県漁業の動き、沖縄総合事務局農林水産部